



シルバーだより

道 標

第24号

令和6.7.25

理事長あいさつ

2

令和六年度定時総会開催

2

理事の紹介

3

令和六年度重点項目

4

重点項目達成へ向けた取り組み

安全・適正就業に向けて

5

働く仲間

表彰者のご紹介

互助会だより

6

趣味の広場

7

新人職員紹介・退職のお知らせ

事務局通信

8



地域と共に未来に輝く

大分市シルバー人材センターをめざして

理事長あいさつ 〈設立40周年をお祝いしましょう〉



理事長 江藤 郁

令和六年度を迎え、私自身、二期目の折り返しとなりました。六月十二日には皆様のご理解を得て、今年度の定時総会も無事に終了いたしました。残された期間、全身全霊で取り組む所存でございますので、皆様の変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、令和五年度はこれまでの就業における課題を解決すべく適正就業に取り組んでまいりましたが、請負事業から派遣事業に移行できないものも多く、派遣事業への移行に伴う手数料の増加から派遣事業への移行を断念する発注者もあり、その結果、減収となりました。

また、会員の高齢化、夏期の高温化により、一部業務で大幅な減収となりました。併せて、令和五年十月にインボイス制度が実施され、セクターが会員皆様方の消費税を支払う必要が生じました。さらに、近年の物価高騰に伴い、必要経費も増えきております。

このように、支出が増え、収入が減るといふ大変厳しい状況に当セン

ターは直面しております。

こうした状況から脱却するために、令和五年度に加入した大分商工会議所を通じた会員拡大と就業開拓、並びに同じく設置したシルボンヌ委員会による女性会員の拡大と就業開拓の取組を進めてまいります。

また、フリーランス新法が令和五年五月に公布、令和六年十一月には施行されるため、会員皆様には書面又は電磁的記録による事前の就業条件の明示が義務化されます。加えて、今後、時期は未定ですが、発注者と会員との間に契約関係が生じる契約方法の見直しも実施されます。このため、第二次中期計画の基本目標である「デジタル化の推進」の実現が必須の課題となり、手軽に会員の皆様へ就業情報を伝達できる手段として、会員クラウドサービスの普及に努めていかなければなりません。

最後になりますが、十一月八日に設立四十周年を迎えることから、令和六年十一月十二日に設立から四十年を振り返り、前途を祝して記念式典を挙行してまいりたいと考えております。式典終了後には抽選会やアトラクションも計画しておりますので、多くの会員皆様が出席いただき、記念事業が盛大なものとなるよう準備をいたしております。皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

令和六年度 定時総会開催

去る六月十二日(水)午後一時三十分より大分市コンパルホール(文化ホール)において令和六年度定時総会を開催いたしました。



総会に先立ち会員表彰式が行われ、理事長より受賞された三十二名の方へ表彰状と記念品を贈呈いたしました。



総会に入り、江藤理事長より、長年にわたりシルバー人材センターの取り組みへの貢献に対して表彰を受けられた会員への感謝と今後のご活躍を祈念するとともに、今後は女性会員を拡大することが重要であり、そのために「シルボンヌ委員会」を設置したことや、今年度は設立四十周年記念の年であるので、会員の皆様のご協力をお願いしたいとの挨拶がありました。





次に大分市長 足立信也様、大分市議会議長 二宮博様、大分県シルバー人材センター連合会会長 江藤郁様からのメッセージが披露されました。

議案審議に先立ち議長に山崎陽二さん(滝尾A班)を選任し審議に入りました。



第一号議案…令和五年度事業報告について(案) 第二号議案…令和五年度収支決算報告(案)並びに監査報告について 第三号議案…役員を選任(補充)について(案)の各議案について、事務局長より説明し、いずれも原案通り承認されました。

続いて第一号報告…令和六年度事業計画について 第二号報告…令和六年度収支予算についての報告が行われました。

以上で全ての議事が終了し、総会を閉会いたしました。

出席されました会員の皆様の多大なご協力により、総会が滞りなく進行できましたことに厚くお礼申し上げます。

総会終了後、安全・適正就業委員会の幸義広委員長による「安全就業研修」を行いました。



理事の紹介



- 理事長 江藤 郁
- 副理事長(大分市) **新**正池 功
- 常務理事(事務局長) 釘宮 祐一
- 理事(大分市) 齊藤 修造
- 理事(剪定部会代表) 深草 秀昭
- 理事(草刈り部会代表) 都甲 堅治



- 理事 (福祉・家事援助サービス部会代表) 河合伊津子
- 理事(安全・適正就業委員会代表) 幸 義広
- 理事(一地区代表) 吉村正太郎
- 理事(二地区代表) 渡邊 邦治
- 理事(三地区代表) 衛藤 光
- 理事(四地区代表) 渋谷 建治
- 理事(五地区代表) 大野 憲一
- 理事(六地区代表) 宮園 清孝
- 理事(七地区代表) 渡辺 正道
- 理事(互助会代表) 小浦 良雄
- 理事(会員代表) 高橋 豊文
- 理事(会員代表) 白石 郁子
- 監事(会員) 薬師寺 寿
- 監事(会員) 仲矢 吉徳

理事専門部会のご紹介

業務の執行を決定する理事の役割分担は次のとおりです。

●総務部会

規定・規則・要綱に関することなどを協議

正池 功 釘宮 祐一
吉村正太郎 渋谷 建治
宮園 清孝 小浦 良雄

●事業部会

専門部会に関することなどを協議

深草 秀昭 都甲 堅治
幸 義広 渡邊 邦治
衛藤 光 高橋 豊文

●福祉部会

福祉・家事援助サービスに関することなどを協議

斉藤 修造 河合伊津子
大野 憲一 渡辺 正道
白石 郁子



令和六年度重点項目

定時総会の決定を受け、令和六年度の重点項目は、組織力の強化、財政基盤の確立、安心安全な就業環境の確立強化、会員の増強、デジタル化の推進とされています。

《目標数値》

主な目標数値は、次のとおりです。

	目標数値	5月末の実績
会 員 数	1,720人	1,575人
受 注 件 数	9,300件	2,403件
契 約 金 額 (請負・委任)	462,000千円	59,871千円
契 約 金 額 (派 遣)	280,000千円	44,746千円
事 故 件 数	10件以内	4件

重点項目達成に向けた取り組み

① 組織力の強化

事務局や部会の組織強化を図

るとともに、会員の意識改革、地域班の充実強化に努めます。

- ・職員研修の実施
- ・業務の効率化の追求
- ・新たな部会の設立の検討

② 財政基盤の確立

広報の充実を図るとともに、就業開拓のための営業活動を強化します。

- ・事業所等への営業活動の実施と派遣契約への積極的な移行の推進
- ・地元紙や折込チラシによる広報
- ・ハローワークや商工会議所などの関係機関との連携
- ・PR拠点や交流拠点機能の設置
- ・シルボンヌ委員会(女性委員会)による就業開拓 など

③ 安心安全な就業環境の確立強化

安全・適正就業委員会や部会での安全対策の強化を図ります。

- ・安全標語、ヒヤリハット事例の募集と会員への周知
- ・安全ニュースの毎月発行と安全意識の高揚

- ・安全パトロールと安全研修の実施
- ・交通事故の防止と安全運転研修の定期的実施 など

④ 会員の増強

「一会員一名増強運動」の展開や入会説明会、広告宣伝の充実を図ります。

- ・一会員一名の会員登録の呼びかけ
- ・入会説明会をセンター及び各地区公民館のほか、シヨッピングセンターなどで開催
- ・新聞折込や地元新聞広告の実施
- ・女性向けセミナー、講座の開催による入会促進
- ・電話での就業斡旋や求人情報の随時提供、相談窓口の充実による退会者抑止 など

⑤ デジタル化の推進

事務局や会員のデジタル化を推進します。

- ・DVD、WEBによる入会説明会の実施
- ・ホームページの見直し
- ・スマホ教室、パソコン教室の実施
- ・シルバースystemsの更新など



安全・適正就業委員会

委員長 幸 義広

安全は「まあいいか」 では防げない

この標語は昨年度会員の皆様よりご応募いただいた中で最優秀賞となった作品です。今年度も「安全は全てに優先する」の合言葉の下、事故ゼロを目指し、お仕事に取り組まれますよう宜しくお願い致します。

さて、昨年度は残念ながら過去三年間では最も多い二十七件の事故が発生しました。なかでも「つまずく・すべる・バランスを崩す」といった転倒事故が最も多く発生しています。加齢に伴い疲労回復力や感覚機能、平衡機能の低下などの不安要素が増えてまいります。私は関係ない、大丈夫などと思わず身体機能の変化を十分に認識しましょう。
シルバーの事業は、健康で働く意欲のある高齢者が自らの人生を就業を通じて「いきいき」

としたものにしていくという
ことが主旨となっております。

また、皆様方が日頃取り組まれている「お仕事」も発注者の皆様から非常に高い評価をいただいております。なかでも「今後もシルバーを利用したい」と回答された方は九十二%に達しています。これは皆様方の真摯な対応と仕事の出来栄が大きく評価された結果です。しかし事故を起こすとその評価にも影響が及ぶことにもなりかねません。

シルバーでは「安全就業の心得」として、①日頃から健康管理に努める(定期健診など)②仕事の前日は十分な睡眠③服装は作業に適したもの④仕事の前準備運動⑤器具類の事前点検⑥加齢による身体機能低下を認識⑦急がず慌てず安全第一⑧就業の場の整理整頓⑨共同作業の合図・連絡⑩交通事故防止等と呼び掛けています。
事故は決して他人事ではありません。事故をどうやって防ぐか、あなた自身の問題としては是非お考え下さい。

働く仲間

表彰者のご紹介

(順不同)

おめでとうございます



〔在籍十五年会員〕

- 羽田孝一 (春日B班)
- 大木重則 (寒田A班)
- 浦末幸則 (大在C班)
- 山村邦夫 (明治北C班)
- 山口順子 (津留班)
- 二宮 浩 (八幡班)
- 玉井紀年 (金池C班)
- 前田和男 (金池A班)
- 藤井文明 (高田A班)

〔地域班長歴任六年以上〕

- 令和五年四月一日〜令和六年三月三十一日の間に退任された班長の内、六年以上務められた方
- 森 福生 (滝尾E班)
- 安部 浩 (桃園C班)
- 倉橋次惣 (高田A班)
- 近藤恵津子(住吉班)

- 河野 勇 (鴛野班)
- 村谷勝弘 (戸次B班)
- 片岡 博 (大在B班)
- 佐藤富彦 (宗方D班)
- 後藤正義 (滝尾B班)
- 井上けい子(明治A班)
- 武藤孝夫 (坂ノ市班)
- 澤田洋子 (明野E班)
- 足立達夫 (戸次B班)
- 篠田俊直 (戸次A班)
- 丸小野正人(判田A班)
- 後藤秀明 (東植田B班)
- 内田良雄 (大在B班)
- 安東廣司 (川添A班)
- 首藤強一 (滝尾A班)
- 甲斐 弘 (南大分A班)
- 片岡桂子 (荏隈B班)
- 佐藤和子 (桃園B班)
- 足立節子 (南大分A班)

表彰を受けて

十五年前の思い出

後藤 秀明(東植田B班)

平成二十一年、六十六歳の時に剪定部会に入り、早いもので十五年が経ちましたので、当時のことを少しだけ思い出してみました。

当時の剪定部会の作用会長、梶原講師の指導のもと第十二期剪定スクール生十五名でのスタートでした。現在も数名の同僚が頑張っています。

真夏の暑い中、これまでに携わったことのない慣れない実技実習は本当に大変だったことが思い出されます。よく頑張ったものだと思います。そんな中、スクール生の中には世話役がいて、飲み会の企画、スクール終了時の一泊旅行、スクール期間中のアルバムの作成等、今思い出すとスクール期間中の半年間は本当に充実し、大変な中でも楽しく感じる研修であったことが思い出されます。

スクール終了後、現在所属している班の当時の班長が自宅に来られ、「一緒に仕事をしないか」との誘いに二つ返事で受けた時のことが今でも思い出され

ます。まさに老人の域に入ろうかと云われてもおかしくない六十六歳の者が若い時分の時のように嬉しかったことが今でも思い出されます。剪定という未知の世界へ臨むことへの期待感がそうさせたのでしょうか。

少しでも上手くなれるよう技術的なことは勿論のこと、樹木の名前と性質、花の時期、害虫のこと等覚えることが多岐にわたり、それが現在も続いて奥深いものです。

これからも家族の理解を得ながら、体の許す間は、この好きな剪定を続けていけたらと考えられています。

さて、私が入会した当時の剪定部会の会員は百四十名ほどの在籍でしたが、現在は百名を切る状況です。法的に雇用延長の義務付け等理由は様々考えられますが、剪定に限って言えば「個人装備への初期費用の負担」「すぐ所得へ結びつかない」「今更きつい仕事はしたくない思考」等要因はいろいろ考えられますが、さびしさを感じているところでは。

これからも健康に留意し、頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

シルバー会員になって

近藤 恵津子(住吉班)

平成二十五年に「人のお役に立てれば」との思いでシルバー人材センター会員になりました。

福祉・家事援助サービス部会で、個人宅での清掃、荷造り、料理作りをし、明るく、笑顔でお客さんの気持ちに寄り添い、必要とすることは何かを心がけながら進めていく難しさを感じましたが、仕事が終わって「ありがとう、またお願いします」との言葉に「お役に立てたのかな」と思う次第でした。また、就業報告書を持参した際、「ご苦労様でした」と職員の方からの労いの言葉に、めげる気持ちで「これからも頑張ろう」と前向きになりました。

平成二十九年から約四年間、児童育成クラブの支援員になり、かわいく、賢い子どもたちに接し、学ばせられる日々でした。無事の帰宅に安堵するほどで、健やかな成長を願うのみです。

同じく平成二十九年から地区班長として、六年七ヶ月間事務局日より等を配布しました。

社会との繋がり、多くの人との出会い、ふれあいを持ってたことで「シルバー会員を続けてよかった」と思う今日です。

互助会だより

会長 小浦 良雄

昨年、新型コロナウイルス感染症が「五類」に移行し、四年ぶりに「研修バス旅行」が実施でき、新たに「健康マージャン」や「ふれあい親睦交流会」も開催できるようになりました。

今後も、会員の皆様が楽しく、参加しやすい各種行事を計画していますのでご期待ください。

また、役員一同、一致団結して頑張つてまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

役員は次のとおりです。

- | | |
|--------|--------|
| 小浦 良雄 | 徳丸 修 |
| 吉村 正太郎 | 一万田 精次 |
| 木下 和子 | 柴尾 照夫 |
| 前嶋 サチミ | 山村 光子 |
| 木下 友介 | |



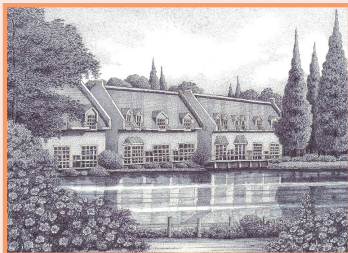
趣味の広場

ぬり絵

長畑 孝典さん



カトレア



ハウステンボス
(ボールペンによる点描)



唐津市の棚田

ハーバリウム

鶴岡 道弘さん



随筆

ああ税金

隔年 自動車重量税

四〜六月

所得税確定申告納税

県民税 自動車税

市民税 軽自動車税

固定資産税 国保税

介護保険料

偶数月 源泉所得税

毎日 たばこ税 酒税

揮発油税 消費税

私の年間納税額は?

政府と自治体の皆さん

大事に使ってください

お願いします

中条 正士さん

俳句

未練などさらさらなくて花吹雪
他者の目で御衣黄桜見ておりぬ
ジャンブルジムに歓声ひびく

春の園

今世では蠅と生まるるは宿命か
あれこれと決めかねている 春の鴨

旅先の予期せぬ出会い 遅桜

裸婦像へ寄り添うように緑さす

未黒野や男ひとりの仁王立ち

廃校の記念碑に降る 桜蕊

ポピー揺れ ケーキの届く 誕生日

子らの夢話の 珍珠町の 鯉のぼり

車椅子の 少女の視線に

チューリップ

音符のように 園帽揺れる 春の山

「紅麴」列島揺らぐ 末の春

ロマンス詐欺の 甘いささやき

土筆出づ

冬眠を忘れし熊に 春来たり

山腹の ここよここよと 藤の花

ミモザ咲き 朝の習慣 写経かな

生野 義晴さん

短歌

描きぬし 夢遠のきていつしかに
すてきな老いへと 望みをつなぐ
憧れにひたむきなりし 若き日に

想ひを顧へす 古きアルバム

進みゆく時代の テンポ 早ければ

意外な余生 われにあるやも

離れ住む君に 似合ひの服あれば

値札をそっと 確かめてみる

長畑 孝典さん

新人職員紹介

〈退職のお知らせ〉



今川 尚子

業務課
継続・家事援助班
令和6年7月着任



白木原 宏治

業務課
派遣班
令和6年7月着任



今石 友美

総務課
庶務班
令和6年4月着任



村瀬 恵美子

業務課
継続・家事援助班
令和6年4月着任

業務課 派遣班

浜田 麻美 (令和六年一月末付)

安藤 ミチル (令和六年六月末付)

総務課 庶務班

南 貴啓 (令和六年三月末付)

村山 剛 (令和六年四月末付)

事務局通信

シルボンヌ委員会



◆シルボンヌ◆

「シルバー」とフランス語の「ボンヌ」(素敵な、快適な)を合わせた造語

「高年齢者雇用安定法」が改正され、企業等の七十歳までの雇用が努力義務とされたことから、男性会員の拡大が期待できにくく、六十歳代の会員が減少しています。そのため、女性会員の拡大が課題となっています。こうした中、当センターでは、女性会員の拡大及び就業開拓を行うことを目的に「シルボンヌ委員会」(女性委員会)を令和六年三月五日に設置しました。この目的達成に向けた取り組み

みの第一弾として、まず、委員や女性会員同士の親交を深め、講師の育成と就業につなげるため、「ペーパークラフト教室」を六月十四日に実施しました。

当日は、十二名の参加があり、和気あいあいと楽しそうなかにも、真剣に「籠づくり」に取り組みんでいました。

今後とも、楽しく参加できるような講習等を実施し、多くの方の入会や就業につなげてまいりますので、女性会員の皆様のご協力をお願いいたします。



フリーランス新法

令和五年四月二十八日、「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律(フリーランス・事業者間取引適正化等法)」が可決・成立し、同年五月十二日に公布されました。

この法律は、個人として業務委託を受ける事業者と企業などの発注事業者の間の取引の適正化、フリーランスの就業環境の整備を図ることを目的とし、発注事業者に対し、取引条件の明示等を義務付けるとともに、育児介護等に対する配慮やハラスメント行為に係る相談体制の整備等を義務付けています。

この法律は、令和六年十一月に施行が予定されています。

当センターとしても、法律の施行までに就業条件の明示をこれまで以上に簡素化するため、皆様方のご理解の下、デジタル化の推進、特に会員クラウドサービスの積極的な登録を進めてまいります。

編集後記

六月二十日、東京で全国シルバー人材センター事業協会の定時総会が開催され、江藤理事長とともに出席しました。江藤理事長は大分県連合会の会長として出席され、令和五年度の大分県の会員増加率が全国第五位となったことで、会員拡大に特に顕著な功績があった都道府県連合として、全シ協会長表彰を受けました。総会終了後には、コロナ禍で中止されていた交流会が、全国各地のシルバー人材センターの代表が出席するなか、久しぶりに行われ、交流を深めました。今後、全国の仲間とともにシルバー人材センターの発展に寄与しなければならぬと決意を新たにしたいところです。(釘宮)

● 会報編集委員

釘宮 祐一・森永 徹
那賀 美保・今石 友美

シルバーだより

道 標 第 24 号

● 発行 / 令和6年7月25日

● 発行所 /

公益社団法人大分市シルバー人材センター
〒870-0026 大分市金池町3丁目2番3号
TEL 097-538-5575
FAX 097-538-5576

ホームページのご案内

<http://oita.o-sjc.com/>

